

1

21世紀にはばたく



- 1 ビジネスの世界ってどうなっているのだろう?
- 2 なぜ、商業を学ぶのだろう?



わたしたちの社会では、多くの企業が自らの利益をめざしつつ、取引関係を通してたがいに協力しあって、社会の人々の生活向上に役立っています。このような活動が活発に行われている世界、それがビジネスの世界です。

現在のビジネスの世界は、変化が激しく、発展のスピードもはやいので、この世界で生きるために、しっかり勉強しておくことが必要です。特に商業の勉強が大切です。

それでは、もうすぐビジネスの世界にとび出すことになるみなさんに、商業の学習ガイダンスをはじめましょう。

まず、こんにちのビジネスの世界の特徴的な四つのシーンを次ページから紹介します。そこから商業を学ぶ目的を考えてみましょう。



Scene 1

今、ビジネスの世界は

お客様のハートをつかむ

Business

こんにちのわたしたちの社会はとても豊かになり、
ものやサービスであふれています。しかし、その反面、どんなものを買っても、また、どんなサービスを受けても、それほど大きな違^{ちが}いがないこともあります。⁵

ですから、どれも同じだろうと思って買った商品が、びっくりするほどよいものであったときは、とてもうれしくなります。また、はじめて泊^とまったホテルのサービスが^{ゆき}届いていて、心も体もゆっくり休めたときは満足感でいっぱいになります。このようなときは、また同じものを買おう、またこのホテルに泊まろうという気持ちになります。¹⁰



したがって、ものやサービスを提供する側にたつ企業は、お客様の求めるものを提供しないと、たちまち競争にやぶれてしまいます。そこで企業は、お客様の求めるものを調査したり、売り方を工夫したり、お客様のハートをつかむためにさまざまな活動をします。企業がこの活動を通じてお客様を満足させられれば、つまり、お客様のハートをつかめれば、そのお客様は顧客^{がく}として、その企業のファンになります。¹⁵

このように、顧客満足の実現ということがビジネスの世界では、重要になります。ですから、お客様（消費者）の視点にたって、そのニーズを適切^{てきせつ}にとらえ、顧客満足を実現するなどの能力を身につけることが必要になります。そのために商業を学ぶのです。²⁰

Scene 2

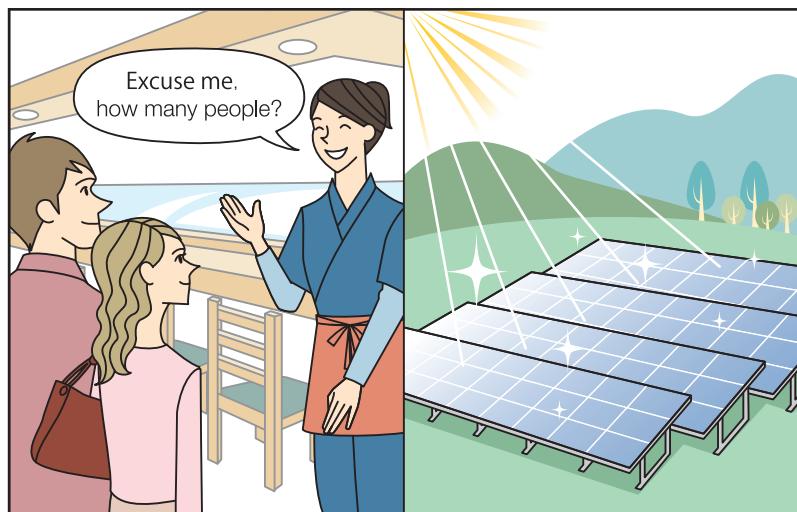
今、ビジネスの世界は



経済社会をリード

Business

ビジネスの世界は、もはや国境がないといえるくらいグローバル化が進んでいます。たとえば、外国からたくさん企業が日本にきて、ビジネスを展開しています。また、日本から多くの企業が外国に進出しています。日本の企業と外国の企業との新しい関係づくりなども盛んに行われています。世界のどこかに、もうかりそうなビジネスがあると、さまざまな国からお金がたくさんそこに流れます。



10 こんなちの日本はたいへん豊かになったため、大きな経済成長は実現しにくくなっています。企業が売上を飛躍的に伸ばすことは難しくなり、国の税収も伸びにくくなっています。

15 このようなわが国では、これまでにないすぐれた技術や斬新な発想で新しいビジネスを生み出し、社会に貢献することが必要になります。地球環境をよくする技術や老後の生活を安心してまかせられるビジネスなどが、たくさん出てくることが求められます。

そのためには、経済社会の動きをしっかりと理解して、経済社会の発展に取り組もうとする能力を身につける必要があります。そのため商業を学ぶのです。

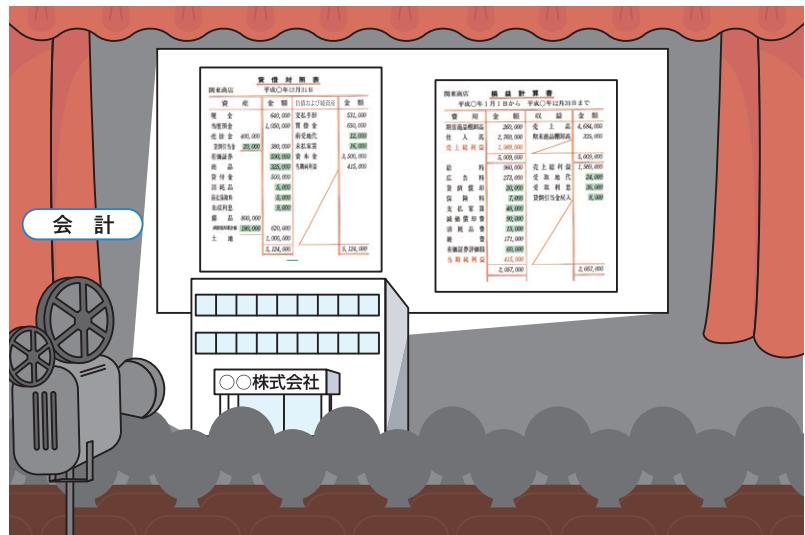
ビジネス言語

Business

ビジネスの世界における企業の活動は、とても広く、かつ、複雑です。ですから、企業の活動が、順調なのか不調なのかなど、活動の状態をいつもしっかりとつかんでおく必要があります。そうしないと、^{はげ}変化の激しいビジネスの世界では、企業の経営はうまくいきません。⁵

また、株主などから企業経営のために受け取った資金をどのように活用して、どれだけもうけたかなどについても、企業は報告しなければなりません。

そこで、企業の活動を一定のルールに従って、記録し、報告する技術が必要となります。これが会計です。会計は、ビジネスの世界では、企業の活動を映し出すビジネス言語といわれ、ビジネスの世界に生きる人々の共通語になっています。¹⁰



多くのライバル企業が存在し、変化の激しいビジネスの世界のなかで企業経営を順調に進めるためには、会計を企業経営に役立つように、積極的に利用し、さらに会計情報を広く提供する能力を身につけることが必要です。そのために商業を学ぶのです。¹⁵

Scene4

今、ビジネスの世界は

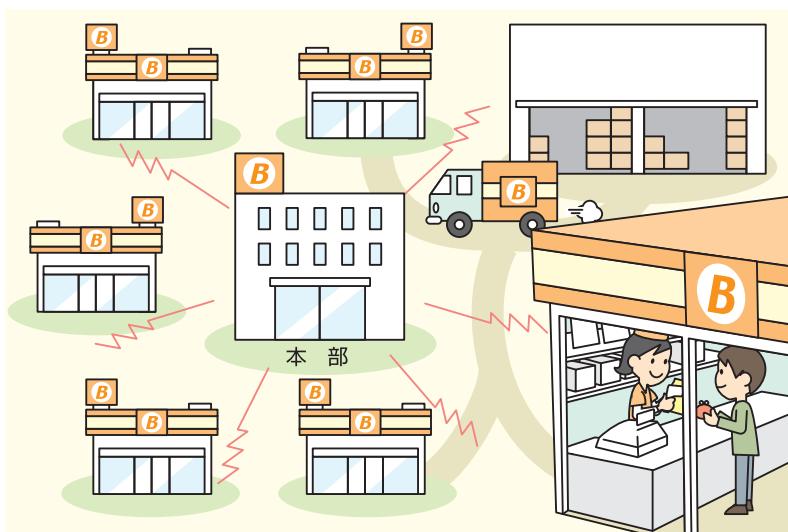
高度情報通信技術

Business

こんにちは、ビジネスの世界では、多くの企業のコンピュータが、ネットワーク上でつながり、情報のやりとりをしています。

たとえば、コンビニエンスストアでは、売れた商品の情報は、瞬時にコンビニエンスストアの本部へ送られ、本部から物流センターへ商品の補充に関する情報が送られてきます。ですから、わたしたちがいつコンビニエンスストアへ行っても、欲しい商品がそろっています。

コンビニエンスストアの経営は、このような高度情報通信技術なしには成り立ちません。このことは、コンビニエンスストアに限らず、こんにちのすべての企業においていえることです。



こんにちのビジネスの世界では、情報通信技術をいかに活用するかが、ビジネスの発展を大きく左右します。ですから、わたしたちは、ビジネスの世界を生きるためにコンピュータや情報通信ネットワークを使い、情報を適切に処理し活用する能力を身につけておかなければなりません。そのために商業を学ぶのです。

商業を学ぶことによりビジネスをきちんと理解して、それを実際に役立てる能力が身につくことがわかりましたか。すぐれた会計の能力やコンピュータに関する幅広い知識、経済の動きを理解する力など、ビジネスの世界ではなくてはならないものです。⁵

これまでみてきたとおり商業を学ぶことで、ビジネスの世界で役立つすばらしい力を身につけることはできますが、ビジネスの世界で長く活躍するためには、ビジネスで必要な心がまえも身につけておかなければなりません。

- ❶ 7章で学ぶビジネスマナーは、のぞましい人間関係を築くことに、役立ちます。

1 人と人とのつながり

10

ビジネスを動かしているのは人間ですが、こんにちのビジネスはめまぐるしい環境の変化に置かれているので、人々が力をあわせて活動しなければなりません。つまり、チームワークです。チームワークがよい組織では、ビジネスが円滑に進み、さまざまな課題の解決もはやいといわれています。¹⁵

チームワークをよくするために、協調性に心がけ、ふだんからあいさつやことばづかい、心くばり、思いやりなど人と人のつながりを大切にしたのぞましい人間関係^❶を築くことが必要です。



2 やさしさとけじめをもって

20

ビジネスは、利益を得ることを目標としますが、そのことだけに重点を置きすぎないようにすることが大切です。

たとえば、健康を害する商品とわかっていたながら、もうかるという理由で販売してしまったり、生産コストが高くなるという理由で、工場に公害防止装置を備えなかったり、企業の極秘の内部情報を入手できる立場にある人が、その情報をもとに株の売買をして大もうけをすることなど、自分の利益ばかりを考えるような反社会的な行為^{こうい}は許されません。²⁵



りんり
倫理観や責任感など、豊かな人間性を身につけ、やさしさとけじめをもってビジネスにのぞむことが、社会全体の発展そして幸福につながるのです。

3 技術やアイディアを生み出す

新しくビジネスの分野をひろげたり、課題の解決をしたりするためには、新しい技術の開発や流通のしくみの工夫、新しいアイディアなどを生み出すことが必要です。

たとえば、携帯電話の機能は日々進化しています。「どこでも自由に電話ができるいいな」から出発して、小さいほうが持ち運びやすい、写真やビデオをとりたい、メールやインターネットもしたい、海外でも使いたい、支払手段としても使いたい、など消費者の求めるものにこたえて、多様な機能が1台の携帯電話につまっています。そして、これらを可能にする技術も日々進化しています。



このような新しい技術やアイディアを生み出す力が創造性です。

創造性を身につけるためには、他人にたよらず、自分自身の力でなんとかしようとする主体性のある行動を心がけ、それにより出た結果には、自分で責任をもつ自己責任の意識をしっかりとつことが大切です。また、どんな商品をつくれば人々のためになるのか、どんなサービスを人々は望んでいるのかなど、ビジネスを通して社会貢献をしようという心がまえをもつことが重要です。